

令和6年度 学校評価報告書

小樽市立塩谷小学校  
校長 渡辺 琢史

1 本年度の重点目標

かかわり つながり とともに未来を切り拓く塩谷小の子ども ～可能性の扉を広げよう～ キーワード「ほめる 認める 高めあう」
---

2 自己評価結果・学校関係者評価の概要と今後の改善方策

小樽市教育推進計画の目標	施策項目	数値目標	自己評価		学校関係者評価
			評価	取組状況・達成状況	
1 未来を創る力の育成	確かな学力の育成	児童アンケートで、国語・算数の「授業がわかる」と回答する児童を80%以上にする。			
	特別支援教育の充実	校内支援委員会を年3回以上開催する。			
	国際理解教育の充実	児童アンケートで、「外国語活動や外国語の学習は好き」と回答する児童を80%以上にする。			
	理数教育の充実	児童アンケートで、「算数の学習は好き」と回答する児童を80%以上にする。			
	情報教育の充実	職員自己評価で「ICT機器やクロームブックの授業での活用が進められた」との肯定的回答を80%以上にする。			
	キャリア教育の充実	保護者アンケートで「学校はキャリア教育に取り組んでいる」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
改善方策					
学校関係者評価委員による意見					
2 豊かな心の育成	道徳教育の充実	保護者アンケートで「生命を大切にすする心や相手の気持ちになって考えるやさしい心が育っている」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
	ふるさと教育の充実	保護者アンケートで「地域の人材や教育資源を活用し、ふるさと教育に取り組んでいる」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
	読書活動の推進	全校児童が学校図書館から借りる本の冊数を年間500冊以上にする。			
	体験活動の推進	社会科見学等体験的な学習を各学年3回以上実施する。			
	コミュニケーション能力の育成	保護者アンケートで「児童はあいさつがしっかりできている」と肯定的に回答する保護者を85%以上にする。			
	いじめの防止や不登校児童生徒の支援の充実	児童アンケートで、「学校が楽しい」と回答する児童を80%以上にする。			
改善方策					
学校関係者評価委員による意見					

小樽市教育推進計画の目標	施策項目	数値目標	自己評価		学校関係者評価	
			評価	取組状況・達成状況		
3	健やかな体の育成	体力・運動能力の向上	保護者アンケートで「児童は体力が向上している」と肯定的に回答する保護者を80%以上とする。			
		食育の推進	栄養教諭等を活用した食育授業を各学年1回以上実施する。			
		健康教育の充実	保護者アンケートで「早寝・早起き・朝ごはんなど基本的な生活習慣が身についている」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
改善方策						
学校関係者評価委員による意見						
4	家庭・地域との連携・協働の推進	家庭教育支援の充実	保護者アンケートで、「毎日決められた時間家庭学習をしている」と回答する保護者を80%以上にする。			
		学校と地域の連携・協働の推進	保護者アンケートで「地域の声を生かす学校づくりを進めている」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
改善方策						
学校関係者評価委員による意見						
5	学びと育ちをつなぐ学校づくりの実現	学校段階間の連携・接続の推進	保護者アンケートで、「中学校との連携・接続を図る取組が進められた」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
		教育環境の整備・充実	職員自己評価で「日常的な点検、備品・教材の整備に努め、教育環境の充実が図られた」との肯定的な回答を80%以上にする。			
		教職員の資質・能力の向上	職員自己評価で「計画的な研究・研修を通し、教職員としての資質・能力の向上が図られた」との肯定的な回答を80%以上にする。			
		学校運営の改善	職員自己評価で、「業務の効率化が進められた」との肯定的な回答を80%以上にする。			
		学校安全教育の充実	保護者アンケートで「事故等から自ら身を守る知識を身につけられるよう安全教育を進めている」と肯定的に回答する保護者を80%以上にする。			
改善方策						
学校関係者評価委員による意見						
社会教育に関連する目標 (目標6～8)			図書館、博物館、美術館、文学館等を各学年で年1回以上活用する。			
改善方策						
学校関係者評価委員による意見						